

# 大原中だより

さいたま市立大原中学校  
TEL 048-831-5397  
FAX 048-835-1357  
**第 4 号**

校 訓 「歴史を拓く」

学校教育目標 **はつらつとした生徒、地域に輝く学校** 令和 2年 7月 1日 (水)

メールアドレス: ohara-j@saitama-city.ed.jp ホームページ: <http://ohara-j.saitama-city.ed.jp/>

## 『置かれた場所で咲きなさい』

校長 小熊 誠

始まりました。学校に生徒たちの姿が声が笑顔が戻ってきました。やはり、学校の主役は生徒たちです。令和2年度大原中劇場の本当の幕開けです。朝、正門で生徒たちのマスク越しの穏やかな目線から迸る爽やかな挨拶に癒されていた私は、最初から素敵な場面に出くわすことができました。3年生の女子3人が、登校途中に気持ちが悪くなった生徒がいることを伝えに来てくれたのです。しかも、ちゃんとお水まで飲ませてくれていました。優しさと細やかな心遣い溢れ出ていた素晴らしい一場面でした。これから大原中で繰り返される様々な場面への期待が大きく膨らんだ瞬間でした。保護者・地域の皆様、どうぞこれからの大原中の生徒たちの活躍に御期待ください。しかし、まだ幕が開いたばかり、自分の置かれた場所が掴めず、不安を抱えている生徒たちもいるかもしれません。そこで今回は、ノートルダム清心学園渡辺和子理事長の著書と私の話をさせていただきます。

私は剣道部の顧問になりたくて教員という職に就きました。しかし、新任で着任した学校では、剣道部にはすでに顧問がいました。しかもその剣道部は全国レベル。顧問は剣道5段の実力者でした。私は、部員数118名、そのうち約40名が幽霊部員の陸上部の顧問を任されました。正直イヤでした。校庭の端に砂場があり、その脇が剣道場でした。私は、いつもその砂場付近で陸上部を見ていました。ちょうど5月の連休明けです。当時の女子副部長に「先生が剣道場の近くの竹刀の音が聴こえる場所にいるうちは誰も先生の言うことを聴かないよ。」と言われました。私はハッとしました。その後は、自分で有力高校や大学を回り練習方法を学びました。関西や東北、九州まで行きました。たくさんの方と知り合い、多くのことを学びました。そして今があります。ノートルダム清心学園渡辺和子理事長も「置かれた場所で咲きなさい」という著書の中で、<置かれたところこそが、今のあなたの居場所なのです。咲けない時は、根を下へ下へと伸ばしましょう>と書かれています。生徒たちは約3ヶ月間の休校・分散登校からやっと通常に戻ったばかり、しかも新しいクラスです。やっと部活動も始まりましたが、大会もなくなり、今までとはかなり勝手がちがいます。クラスに「久しぶりの学校でなじめない・話ができる友達が少ない・苦手な子がいる」、部活動では「大会がなくなり目標が見えない・納得のいく役割ではない・レギュラーになれない」など自分の今置かれた場所に不安を抱え、居場所を見失い、浮かない表情をしている生徒たちもいるかもしれません。そんな時は保護者・地域の皆様、生徒たちに「置かれた場所で咲きなさい」と声をかけてあげてください。今置かれた場所で頑張ることが必ず自分の力になります。必ず誰かが見えています。必ず誰かが認めてくれます。生徒たちの伸ばした根を認め、居場所を創り、生徒たちの輝く笑顔を支えていきましょう。

また、6月からはさいたま市のいじめ撲滅強化月間が始まります。学校では、生徒たちの主体的な取組はもちろん、アンケートや面談、校長講話や学校・学年だよりによる啓発、いじめ撲滅の木によるスローガン作り、道徳や「いのち支え合い」を学ぶ授業等を実施して参ります。保護者・地域の皆様には、別添で文部科学省の「いじめのサイン発見シート」を載せさせていただきます。活用していただければ幸いです。共に力を合わせ、生徒たちの小さなサインを見逃さないよう、連携を深めて参りましょう。御協力をよろしくお願いいたします。



希望の登校 笑顔の活動 満足の下校